

地域医療キャリア形成支援センター

1. スタッフ構成(2026年3月時点)

- 二宮 朋之(副院長、地域医療キャリア形成支援センター長、中央病院経営改革本部副本部長、地域医療連携室長、医療秘書管理室長)
- 杉山 圭三(総合診療科部長、総合診療センター副センター長、臨床研修センター副センター長、地域医療キャリア形成支援センター副センター長)
- <医局(地域医療キャリア形成支援センター勤務)>
- 越智 麻理絵(救急科部長)
- 野間 章裕(総合診療科医長)
- 岡田 将誉(形成外科・顎顔面外科医長)
- 大西 慶(消化器内科医長)
- 濱田 徹(呼吸器内科医長)
- 久保 仁(脳神経内科医長)

2. 運営方針

地域医療キャリア形成支援センター(以下、「センター」)は、義務年限終了後の自治医科大学卒業医師やその他の医師等がセンターに所属し、当該医師等(以下、「センター所属医師」)が地域医療に従事しながら、医療技術の向上および専門医資格の取得等ができる環境をセンターとして整備することにより、センター所属医師のキャリア形成を支援するとともに、県内定着を促し、地域医療提供体制の確保に資することを目的としています。

2020年4月1日付けで知事(愛媛県医療対策課)の要請により設置しました。

(1) センター所属医師のキャリア形成支援

センター所属医師の個々のキャリアプランに応じて、院内外における研修機会の確保および専門医資格取得に向けた関係機関(者)との調整、個別相談への対応等を行います。

(2) 地域の医療機関への支援

(1)を踏まえたうえで、地域の医療機関の医師不足の状況を把握し、センター所属医師の派遣の調整を行います。ただし、派遣先は県内の県立病院または公立病院、へき地診療所に限ります。

3. 実績

センター所属の医師のうち5名が診療支援を行いました。鬼北町国保三島診療所に1名、松野町国保中央診療所に3名、伊方町国保瀬戸診療所に2名、四国中央市国保新宮診療所2名、医療法人興居島診療所に1名、大洲市国保河辺診療所に3名、西予市民病院に4名、県立南宇和病院に4名が診療支援を行い、キャリア形成を図りました。

4. 2026年度目標

センター所属医師の要望を十分に聴き、希望するキャリア形成のために必要な支援を行います。

5. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 岡田将誉、中川浩志、西建剛、石野憲太郎. 痛風関節炎の合併が診断の遅

れを招いた劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)の1例. 第87回中国・四国形成外科学会学術集会. 山口 (2025.9.7)

2. 久保仁、吉田暉、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、岡本憲省. 再発性脳梗塞として加療を受けていた非免疫不全者に発症した進行性多巣性白質脳症の1例. 第118回日本神経学会中国・四国地方会. 高松 (2025.12.20)

(2) 論文・著書

1. toru hamada, Koji Inoue, Masashi Watanabe, Norihiko Nakanishi. Exacerbation of Paraneoplastic Neurologic Syndrome After Immune Checkpoint Inhibitor Treatment in Advanced Small Cell Lung Cancer: A Case Report. Cureus 17(2). doi:10.7759/cureus.79272 (2025.2.19)